

四日市市議会 提言シート

(1) 小学校における校内ふれあい教室の拡充について

(2) 四日市市観光大使制度の事業実施手法の見直しについて

(3) 市営住宅の再編に向けた調査・研究について



令和8年10月2日

○ 四日市市議会提言シート

— 目次 —

- | | |
|-------------------------------|-----|
| (1) 小学校における校内ふれあい教室の拡充について | …P3 |
| (2) 四日市市観光大使制度の事業実施手法の見直しについて | …P4 |
| (3) 市営住宅の再編に向けた調査・研究について | …P5 |

※備考

各提言シートの末尾に、参考として、以下の分類に基づく決算常任委員会における事業実施に関する意見を付記した。

【事業実施に関する意見】

分類	備考
①廃止	次年度事業費予算に関連するもの
②縮小	
③拡大	
④新規事業の実施	
⑤その他	事業実施手法の見直し など

四日市市議会提言シート

～次期予算編成に向けて～

(令和8年8月定例月議会 決算常任委員会)

No. 1

事業名	小学校における校内ふれあい教室の拡充について																							
事業概要	不登校対策推進事業（校内ふれあい教室関連部分）																							
	・ 目的 登校サポートセンターを核とし、各校における登校サポート委員会の機能を高める。また、全中学校に校内ふれあい教室を設置するとともに、小学校にも校内ふれあい教室のモデル校を設置することで、不登校児童生徒支援体制の充実・強化を図る。																							
	・ 内容（実績） 校内ふれあい教室の設置拡充 中学校校内ふれあい教室の全校設置及び小学校校内ふれあい教室モデル校の3校設置により不登校児童生徒への学習機会と居場所を確保する。																							
	<table><tr><td>校種</td><td>令和7年度設置校</td><td>実績</td></tr><tr><td>中学校</td><td>22校（全中学校）</td><td>224人</td></tr><tr><td>小学校</td><td>モデル校3校（富田小 常磐西小 日永小）</td><td>15人</td></tr><tr><td>合計</td><td>市内25校</td><td>239人</td></tr></table>				校種	令和7年度設置校	実績	中学校	22校（全中学校）	224人	小学校	モデル校3校（富田小 常磐西小 日永小）	15人	合計	市内25校	239人								
	校種	令和7年度設置校	実績																					
中学校	22校（全中学校）	224人																						
小学校	モデル校3校（富田小 常磐西小 日永小）	15人																						
合計	市内25校	239人																						
予算現額／決算額	<table><tr><td colspan="2">〔不登校対策推進事業〕 予算現額 77,404,945 円</td><td>決算額</td><td>77,404,945 円</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>国庫支出金</td><td>7,000 円</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>その他特財</td><td>4,740,000 円</td></tr><tr><td colspan="2"></td><td>一般財源</td><td>72,657,945 円</td></tr><tr><td colspan="2">うち、校内ふれあい教室の設置拡充</td><td>決算額</td><td>53,081,612 円</td></tr></table>				〔不登校対策推進事業〕 予算現額 77,404,945 円		決算額	77,404,945 円			国庫支出金	7,000 円			その他特財	4,740,000 円			一般財源	72,657,945 円	うち、校内ふれあい教室の設置拡充		決算額	53,081,612 円
〔不登校対策推進事業〕 予算現額 77,404,945 円		決算額	77,404,945 円																					
		国庫支出金	7,000 円																					
		その他特財	4,740,000 円																					
		一般財源	72,657,945 円																					
うち、校内ふれあい教室の設置拡充		決算額	53,081,612 円																					
次年度予算への提言																								
＜提言＞ 小学校における校内ふれあい教室の拡充について 小学校における校内ふれあい教室の設置について、不登校傾向にある児童への早期支援、現場の教員の負担軽減のため、モデル校3校での取組の検証を踏まえつつ、設置基準を満たす小学校への早期拡充に向けた具体的な設置計画を早急に策定するとともに、スピード感を持った設置拡充のための十分な予算措置を行うこと。 ※参考 事業実施に関する意見 ③拡大																								

四日市市議会提言シート

～次期予算編成に向けて～

(令和8年8月定例月議会 決算常任委員会)

No. 2

事業名	四日市市観光大使制度の事業実施手法の見直しについて	
事業概要	平成24年9月20日に制定された「四日市市観光大使設置条例」に基づき、現在26組27名の四日市市観光大使を委嘱している。令和7年度の活用実績は、「第33回エキサイト四日市・バザール2025」にてザブングル加藤氏を招き、市長とのトークライブを通じて本市のPRを実施した。また、東海ラジオ番組では花井悠希氏が出演し、公開収録等を通じた東京での魅力発信にご尽力いただいた。さらに、加藤氏による本市PR漫才での「M-1グランプリ」出場を通じ全国的な知名度向上を図る予定であったが、災害対応のため出場辞退となった。	
	決算額	四日市観光大使等関係費（款7 商工費 項1 商工費 目3 観光費） 決算額 970,000 円
次年度予算への提言		
<提言> 四日市市観光大使制度の事業実施手法の見直しについて 四日市市観光大使制度について、より効果的で実のある制度とするため、現行の任期の更新時期を捉え、観光大使の活動状況や今後の継続意思の確認を行うなど、形骸化を防ぐための適切な運用へ改善を図ること。 また、時代に即したPRを推進するため、SNS等の発信力を一つの目安として整理するとともに、意欲ある人材を広く登用できるよう、公募や推薦制度など多様な任用手法を取り入れた制度への見直しを検討すること。 ※参考 事業実施に関する意見 ⑤その他（事業実施手法の見直し）		

四日市市議会提言シート

～次期予算編成に向けて～

(令和8年8月定例会議会 決算常任委員会)

No. 3

事業名	市営住宅の将来需要と供給の予測検討業務の拡大について	
事業概要	市営住宅団地の位置図の電子図面編集（CAD図面編集） 市営住宅の管理棟数（約330棟）について、各住棟を建設年度別・住宅タイプ別（簡易耐火構造平屋建、中層耐火構造など）に分類して表示する電子図面を作成。	
	令和8年度予算額	1,100千円
次年度予算への提言		
＜提言＞ 市営住宅の再編に向けた調査・研究について 市営住宅の老朽化、高層階と低層階のニーズのミスマッチによる高層階の空室化や虫食い状態による維持管理の非効率化が課題となっているため、将来的に必要な戸数、住宅困窮者のニーズ及び有識者の知見・先行事例等の調査・研究に係る予算措置を行うこと。 また、調査・研究に当たっては、戸数の削減を前提とするのではなく、建て替えを含めた集約、余剰地の更地化や売却といった様々な視点を持って実施すること。 ※参考 事業実施に関する意見 ⑤その他（事業実施手法の見直し）		